

## 令和4年度 六、七、八段受審者講習会の開催報告

晴天「桜爛漫」の4月17日(日)、新潟市秋葉区総合体育館メインアリーナ及び武道場において、東京から範士八段中田琇士講師と範士八段松下吉進講師、愛知から教士八段山崎尚講師、新剣連の教士八段山田義雄講師と教士八段高橋直志講師の5人の講師を迎え受審者講習会を開催しました。

全体開講式後、本年度からの日本剣道形「共通理解」について、中田講師から「昭和56年制定『日本剣道形解説書』における文言の整合性をはかり疑問点を解消するため、『日本剣道形解説書』の文言を変更することなく「共通理解」とする7項目について説明、指導をいただきました。さらに「審査に臨む心得」、「審査に臨んでからの心得」の薫陶努力資料を拝受して六、七段受審者はメインアリーナで山崎講師、高橋講師の指導、八段受審者は隣接の武道場において中田講師、松下講師並びに山田講師の下で行いました。

### 【六、七段受審者講習会場】

午前、準備体操～素振り(正面打ち)、実戦的な基本打ちと模擬立合い

午後、午前に引き続き模擬立合い2廻りを行い、さらに立合いを想定した互角稽古と代表者3名による模範立合いを行った後、講師からまとめとしてポイント指導をいただきました。

### 【八段受審者講習会場】

午前、模擬立会(四人一組、各組立合い終了毎に講師から指導)

午後、午前中のつづきの模擬立合いを行い、そののち審査形式で模擬審査(講師による評価表で評価)、最後に受審時のポイントを中田講師から示範指導をいただきました。

### 【まとめ】

六、七段会場においては山崎、高橋講師指導による実技指導(基本打突)は日頃、見ることの出来ない示範を目の当たりにし、大いに得るものがあったのではないかと思います。また模擬立会での講師の的確なアドバイスは、これからの稽古に活かされ昇段審査に結実するものと期待しております。

八段受審者会場においては、中田講師、松下講師並びに山田講師に終始、受審者に寄り添った事細かな指摘、指導していただきました。一組(四人一組)に20分を費やしての誠心誠意の指導をいただきました。

講師の熱意あるご指導に心から感謝申し上げます。

コロナウイルス感染症防止のため、講習会の開催が憂慮されてきました。ここに来て開催できたことは新剣連発展の大きな足場になりうるものと確信しております。

受講されました先生方には今講習で得ましたものを日頃の稽古に活かしていただき合格を目指して修練していただきますようお願い申し上げます。

おわりに、運営にご協力をいただきました先生方に紙面をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

審査・講習 遠山正宣